

2021年2月1日

各位

株式会社新生銀行
 代表者名 代表取締役社長 工藤 英之
 (コード番号 : 8303 東証第一部)

サステナビリティボンドの発行について

当行は、機関投資家向け円建てサステナビリティボンド(以下、「本社債」)を、2021年3月を目途に発行します。サステナビリティボンドとは、環境問題・社会課題双方の解決に貢献する事業やプロジェクトの資金調達手段とする債券であり、このたび当行として初めて発行する予定です。

新生銀行グループは、ESG 投融資の推進により持続可能な社会の形成に貢献することを掲げています。これまで、再生可能エネルギーに対するプロジェクトファイナンス、介護・医療関連施設へのファイナンス、グループ会社を通じたインパクト投資の推進など、新生銀行グループ全体で社会・環境課題の解決に資するプロジェクトに積極的に取り組んできました。

近時、銀行の法人ビジネスにおいて、2020年5月に策定した新生グリーン/ソーシャル/サステナビリティファイナンス・フレームワークに基づいて評価を行い、特定の社会課題への対処や社会的インパクトをもたらす事業、または明確な環境改善効果が認められる事業などに対する投融資を行い、「サステナブルインパクト」の取り組みとして推進しています。

本社債による調達資金の用途は、これらのサステナブルインパクトのコンセプトに資する事業への貸付を中心に充当するものとしています。また、当行では、本社債をサステナビリティボンドとして発行するにあたり、関連原則等^{*1}に基づいて、「サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を新たに策定しました。

新生銀行グループでは、サステナビリティを経営の軸に据え、社会課題の解決に資するビジネスに注力しながらグループの持続的な成長を目指していくとともに、社会の持続可能性へ貢献していきます。

<本社債の概要>

| | |
|---|---|
| 名 称 | 株式会社新生銀行第13回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)(サステナビリティボンド) |
| 発行総額 | 100億円 |
| 発行年限 | 3年 |
| 発行時期 | 2021年3月頃を予定 |
| 資金用途(予定) | グリーン分野: 再生可能エネルギー事業への融資等 ソーシャル分野: 高齢者向け介護・医療施設に対する融資等 「サステナビリティファイナンス・フレームワーク」に定められた所定の要件を満たすことを前提とします。 |
| 主 幹 事 | 野村證券株式会社、大和証券株式会社、新生証券株式会社、 SMBC 日興証券株式会社 |
| Sustainability bond Structuring Agent ^{*2} | 大和証券株式会社 |

<第三者評価について>

「サステナビリティファイナンス・フレームワーク」については、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所(以

下、JCR)より「JCRサステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」の最上位評価である「SU1(F)」の評価を取得しています。評価の概要については、以下のJCRのホームページに掲載されています。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/sustainability/>

※1 サステナビリティファイナンス・フレームワークでは、国内外での指針である以下の関連原則と整合した運営を行います。

- ・ 国際資本市場協会(ICMA)が公表している「グリーンボンド原則」、「ソーシャルボンド原則」、「サステナビリティボンド・ガイドライン」
- ・ ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)ならびにアジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーションが策定した「グリーンローン原則」

※2 サステナビリティファイナンスのフレームワークの策定及びセカンドパーティオピニオン等の外部の第三者評価取得に関する助言等を通じて、サステナビリティボンドの発行支援を行う者。

| | |
|------|---|
| ご注意: | この文書は、当行が上記の社債発行に関して一般に公表するための発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当行が作成する発行登録目論見書並びに発行登録追補目論見書をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。 |
|------|---|

以上



お問い合わせ先
新生銀行 グループ IR・広報部
下村、紀、風間
Shinsei_PR@shinseibank.com